

検証意見書

2024年4月15日
意見書番号：SGS24/001

NEC キャピタルソリューション株式会社
東京都港区港南 2-15-3
代表取締役社長
菅沼 正明 様

SGS

検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、NECキャピタルソリューション株式会社（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲

検証対象は、Scope1、Scope2、Scope3である。
対象期間は2022年4月1日～2023年3月31日である。
詳細な検証対象範囲は別紙参照。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：キャピテック&リポートテクノロジーサービス株式会社の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析の検証及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 4.9）及び組織が定めた手順、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver. 2.5）を用いた。

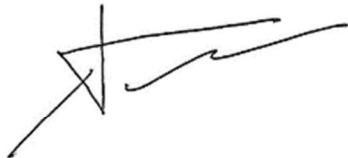
結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。
なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク ノーススクエア I
ビジネス アシユアランス
認証・認定統括責任者

竹内 裕二



別紙

2024 年 4 月 15 日
意見書番号：SGS24/001

検証対象範囲の詳細

検証対象		検証範囲	GHG等に関するステートメント
1	Scope1, 2 (エネルギー起源)	組織の国内16拠点及び国内グループ会社1拠点 (本社、営業拠点及び倉庫)	Scope1 : 50 t-CO ₂ Scope2 : 384 t-CO ₂ (ロケーション基準) 211 t-CO ₂ (マーケット基準)
2	Scope1, 2 (エネルギー起源)	組織の国内16拠点 (本社、営業拠点)	Scope1 : 50 t-CO ₂ Scope2 : 284 t-CO ₂ (ロケーション基準) 107 t-CO ₂ (マーケット基準)
3	Scope 3 (カテゴリー1)	組織単体 ※営業資産を含む	559,019 t-CO ₂
4	Scope 3 (カテゴリー2)	連結範囲における社用資産	613 t-CO ₂
5	Scope 3 (カテゴリー3)	組織の国内16拠点 (本社、営業拠点)	73 t-CO ₂
6	Scope 3 (カテゴリー4)	組織単体におけるリース満了に伴う物流	1,490 t-CO ₂
7	Scope 3 (カテゴリー5)	連結対象範囲 ※倉庫1拠点を除く	33 t-CO ₂
8	Scope 3 (カテゴリー6、7)	連結範囲	カテゴリー6 : 116 t-CO ₂ カテゴリー7 : 202 t-CO ₂
9	Scope 3 (カテゴリー12)	組織単体 ※リース製品の廃棄	33 t-CO ₂ ^{※1}

※1：リース返却品の98%を金属くずとして算定